

## 選考結果総括表

府省庁名 外務省

| 役職        |     | 現任者   |    |             |  | 任命予定者 |    |       | 選考経過   |
|-----------|-----|-------|----|-------------|--|-------|----|-------|--|
|           |     | 氏名    | 年齢 | 当初就任<br>年月日 | 前職                                     | 氏名    | 年齢 | 現(前)職 |  |
| (独)国際交流基金 | 理事長 | 安藤 裕康 | 72 | H23.10.1    | (独)国際交流基金理事長<br>外務省駐イタリア特命全<br>権大使[OB] | 再 任   |    |       | 応募総数 6名<br>↓<br>書類選考<br>↓(3名)<br>面接<br>↓(3名)<br>優先順位を付した情報<br>を踏まえ、任命権者が<br>選任 |

※ 公務員 OB 該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

## 独立行政法人国際交流基金役員名簿新旧対照表

| 役職          | 現任者                |    |          |         |                | 就任(予定)者                              |    |    | 任命権者 | 発令(予定)日 |         |
|-------------|--------------------|----|----------|---------|----------------|--------------------------------------|----|----|------|---------|---------|
|             | 氏名                 | 年齢 | 当初就任年月日  | 任期      | 任期満了年月日        | 前歴                                   | 氏名 | 年齢 |      |         | 前歴      |
| 公募<br>理事長   | 安藤 裕康              | 72 | H23.10.1 | —<br>※1 | H29.3.31       | 駐イタリア特命全権大使【公募】                      | 再任 |    |      | 外務大臣    | H29.4.1 |
| 理事          | 櫻井 友行              | 67 | H22.4.1  | 4       | H30.3.31       | (独)国際交流基金<br>参与兼海外事業戦略部長事務取扱         |    |    |      | 理事長     |         |
| 理事          | 宮嶋 博子<br>(通称:柄 博子) | 58 | H27.4.22 | 4       | H31.9.30       | (独)国際交流基金<br>統括役、執行委員<br>兼企画部長       |    |    |      | 理事長     |         |
| 理事<br>(非常勤) | 佐藤 尚之              | 55 | H25.8.1  | 4       | H29.7.31       | (株)ツナグ代表(現職)、<br>復興庁政策参与(現職)         |    |    |      | 理事長     |         |
| 監事<br>(非常勤) | 鴨志田 文彦             | 65 | H27.10.1 | —<br>※2 | H29.6<br>(見込み) | 中外製薬(株)非常勤顧問(現職)<br>【公募】             |    |    |      | 外務大臣    |         |
| 監事<br>(非常勤) | 沼野 伸生              | 65 | H27.10.1 | —<br>※2 | H29.6<br>(見込み) | (株)沼野Associates<br>代表取締役(現職)<br>【公募】 |    |    |      | 外務大臣    |         |

※1 理事長の任期は、中期目標の期間の末日まで

※2 監事の任期は、中期目標の期間の最後の事業年度についての財務諸表承認日まで

## (独) 国際交流基金理事長選任理由

本法人の使命は、国際文化交流事業を総合的かつ効率的に行うことにより、我が国に対する諸外国の理解を深め、国際相互理解を増進し、及び文化その他の分野において世界に貢献し、もって良好な国際環境の整備並びに我が国の調和ある対外関係の維持及び発展に寄与することにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、外務大臣の定める中期目標に基づき、本法人の基本的な運営方針を立案し、法人全体の業務を総理することが求められる。

本件公募に対しては、6人の応募があり、選考委員会による書類選考で3人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、各候補者に対する評価を任命権者である外務大臣に提示し、これに基づき、外務大臣が安藤裕康氏を選任したところである。

任命理由は、安藤氏が国際関係や文化交流に関して深い知見を有しており、国際情勢が激動する中にあって、国際交流基金が果たすべき役割、行うべき事業の方向性、国民の視点に立った理解の醸成について、明確なビジョンを持っているとともに、他組織との連携・協力の必要性について十分に理解した上で、オール・ジャパンの視点で事業を実施していく意思を有していることなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価されたことによるものである。引き続き、現理事長として主導している「ジャポニスム2018」等の重要事業に関し、国際文化交流に関する深い知識や交渉力を活かして強い牽引力となるとともに、組織の改革に取り組み、高い成果を挙げることに、外務大臣として大いに期待しているところである。

## 選考委員会の属性について

### 【外務省】

- ・ 独立行政法人国際交流基金

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

|          |    |
|----------|----|
| ・ 大学教授   | 1名 |
| ・ 団体（役）員 | 1名 |
| ・ 会社（役）員 | 1名 |
| 計        | 3名 |